



関西福祉科学大学教育後援会 広報誌



大学開学十周年を迎えて  
 大学力、学生力を  
 広く社会に発信

学校法人 玉手山学園 理事長 江端 源治

保護者の皆様には平素から本学の  
 教学振興に格段のご理解・ご支援を賜  
 り厚く御礼申し上げます。おかげさま  
 で、わが大学は一九九七年の開学から  
 早くも十年を迎えます。振り返ってみ  
 ますと本学を選んで入学してくれた  
 学生諸君に、いかにして生涯を支え得  
 る人間力を培わせるか、どうして保護  
 者の皆様のご期待に応えるかに全教  
 職員挙げて情熱を燃やし総力を結集し、  
 ひたむきに駆け抜けてきた十年間で  
 した。一学部一学科でスタートした本

が関西福祉科学大学のために「尽力・  
 ご支援くださったことに衷心より感  
 謝申し上げますとともに、後援会の皆様  
 の最も大切な学生たちに「卒業してよ  
 かった」との最高の満足感をもたらし、  
 同窓生たちには「いつまでも誇れる母  
 校」であり続けるため、全教職員は今  
 後とも喜びと誇りを胸に情熱を燃や  
 し全力を傾注してまいります。それが  
 わが大学の誇れる教職員魂です。

開学十周年、節目の年にわが大学の  
 さらなる発展を期して色々な記念事  
 業が企画・実施されました。わが大学力、  
 学生力を広く社会に発信し「関西でそ  
 の名を知らぬ者は一人としていない」、  
 そんな大学に育て上げてまいりまし  
 よう。学生・同窓生そして保護者の皆  
 様とともに。



人間力を伸ばすために

関西福祉科学大学教育後援会 副会長  
 関西福祉科学大学 副学長  
 岩瀬 悉有

最近しばしば「人間力」ということ  
 ばを耳にする。このことが言われる  
 状況としては、少子化がこどもたち自  
 身に与えている影響、コミュニティ意  
 識の弱体化、競争社会の進展、こども  
 若者たちが感じている閉塞感といった  
 社会の負の面がある。

企業の人事評価基準の中では、求め  
 る「人間力」の要素として個人の潜在  
 的能力、ストレス耐性、コミュニケーション  
 ション能力、こころの強さ、特異性な  
 どが言われたりする。

遠山敦子前文部科学大臣の「たくま

しい日本人の育成」という観点に立つ  
 た「人間力戦略ビジョン」の提言を  
 受けて、小泉内閣も「教育再生会議」野  
 依良治座長を設置した。

だが、そこから出てきた「第1次報告」  
 に見る限り、遠山提言からは少しそれ  
 る形で、教育委員会の権限の強化、規  
 範や公共精神の涵養、教員免許証の10  
 年更新制度など、教育の管理の面と、  
 国際競争力に対応する知識と学力の  
 強化とが打ち出されていた。

本学が標榜する福祉を学ぶ学生に  
 とつての人間力はこれとは内容を異

# 図書館に百万円分の図書を寄贈

図書館には、学生用の教養資料として百万円分の資料(書籍482冊・視聴覚資料24点)を寄贈していただきました。学生には特に文庫本が好評で、読書推進活動の一環として行っている「読書マラソン」の参加者から、毎日たくさん感想カードが寄せられています。参加者の中には、既に百冊読破を達成し更に読み進めている方や卒業までに四百冊読破するのが目標という方もおられ、寄贈いただいた本を大いに活用しています。

また、昨年度は、学生が自分達の読みたい本、興味がある本を選べる「学生選書モニター制度」を導入し、実施しました。公募により各学科から選ばれた学生は、自分の興味のある分野や学科に関する本、友達や後輩に薦めたい本など、それぞれに試行錯誤しながら熱心に選びました。こうして学生が選んだ本も教育後援会から寄贈していただき、多くの学生に利用されています。



教育後援会からの寄贈図書展示コーナー

撮影：河野 潤志



# 教育後援会独自の「奨学金支給」制度が発足

従来より本学において取り扱っております奨学金制度には①日本学生支援機構奨学金②民間育英団体奨学金③地方自治体奨学金④学園内進学および卒業生の子女に対する奨学金制度⑤修学資金貸与制度⑥特待生制度などがあります。これらに加えて、大学教育後援会による教育後援会独自の奨学金支給制度が昨年度よりスタートしました。

本奨学金は、やむを得ぬ事情で家計が急変するなどし、修学が困難と判断される学生を援助することを目的としており、具体的には、一定のガイドラインに基づいて選考が行われ

ています。

本奨学金の募集は、随時行っています。また、申請・審査および問い合わせにかかる窓口は、学生支援センターです。



撮影：梶岡 正俊

# 玉手山学園の「奨学金支給」制度について

卒業生、在学生在が本学に寄せ下さるあたたいお気持ちにお応えすべく、平成13年度入学生より特別な奨学金制度がございします。学園内進学及び卒業生子女に対する奨学金制度です。当学園が設置する大学、短大、高校、専門学校卒業生(既卒者を含む)が、当学園が設置する他の学校に入学した場合や、当学園が設置する(園)の卒業生の子及び孫が同一の学校(園)に入学した場合に、入学されたご本人の申告に基づき、入学金の2分の1を奨学金として入学後支給するという制度です。

また、当学園が設置する高等学校に、卒業生及び在校生の弟、妹が入学した場合にも、この制度が適用されます。その他いくつかの条件がございますので、お問合せ窓口は、大学事務局総務部が学生支援センターです。

# 吹奏楽部に楽器を寄贈 フルート、クラリネットなど

## クラブ活動の助成として

平成十八年度の課外活動への支援事業として、吹奏楽部に楽器二百五十万円分が寄贈されました。寄贈された楽器は、フルート、クラリネット、アルトサクソクス、トランペット、トロンボーン、ホルン、ユーフォニアム、チューバ、ドラムセットで、吹奏楽を構成する基本的な楽器類で、吹奏楽部代表の今井摩衣さん（健康科学科三年生）は「高価な楽器は個人では買えないため、これまでは入部希望者がいても楽器がないこともありましたが、このたび寄贈していただいたことで楽器が充実し、部員も増えました」と話していました。

楽器は三月に部に届き、最初の舞台は四月二十五日に行われた学園総合体育館「D・O・夢」竣工式でした（演奏曲目はラテツキー行進曲）。その後、福祉施設や保育園などに赴き、聴き手に合わせた親しみやすい演奏で次々と演奏会を開催しているとのこと。今最も力を入れて練習しているのは話題の映画「バイレーツオブカリビアン」のテーマ曲。楽器が充実していなければ演奏が難しい曲目です。今後ますます活躍の場が増えると期待されます。



玉手山学園総合体育館「D・O・夢」竣工式での演奏



# 「リーダーズキャンプ」にも助成

平成19年2月26日（月）〜27日（火）にかけて、淡路島の国立淡路青少年交流の家において、リーダーズキャンプを実施しました。学友会役員、大

学祭実行委員、クラブサークル委員、各クラブやサークル、同好会新役員を対象として、講演会や分科会など



武田教授の講演会

を通じてリーダーに求められる資質、意識、態度を学び、それらの向上を図るとともに、後輩を育成していくための実践基盤を築くことを目的としたプログラム構成で行われました。本学の武田建教授、（株）イングの浦上俊司氏を招いての講演会では参加者は熱心に傾聴しました。また夜間の班別討議では、活発な意見交換を経て各班発表用資料作成と充実した時間を過ごすことができました。二日目は、団体の会計に関する講習、ドッジボールを主とした懇親レクリエーション大会を実施しています。大学教育後援会より助成をいただいたことを含め、今後に向けてより一層意欲のあるリーダーズキャンプの企画・実施を目指していきたいと思えます。

# 保健室に「体組成計」を寄贈

学生の健康管理 指導にあたっている大学保健室に、このほど体組成計（たいそせいけい）が設置されました。教育後援会の18年度福利厚生助成費によるものです。

体組成計とは見慣れない名称ですが、体脂肪や基礎代謝量、肥満度など体の組成に関する14項目について測定できる機器だそうです。

保健室では、これを学生の定期的保健指導に活用をはじめました。とくにウェイトコントロール指導には

効力を発揮しています。毎年4月に実施される定期健康診断で「体重管理を要す」との所見の出た学生を全員呼び出し、生活指導、食事指導、健康管理の意識付けなど、計測値の変化を見ながら継続した指導にあたる事ができるようになりました。

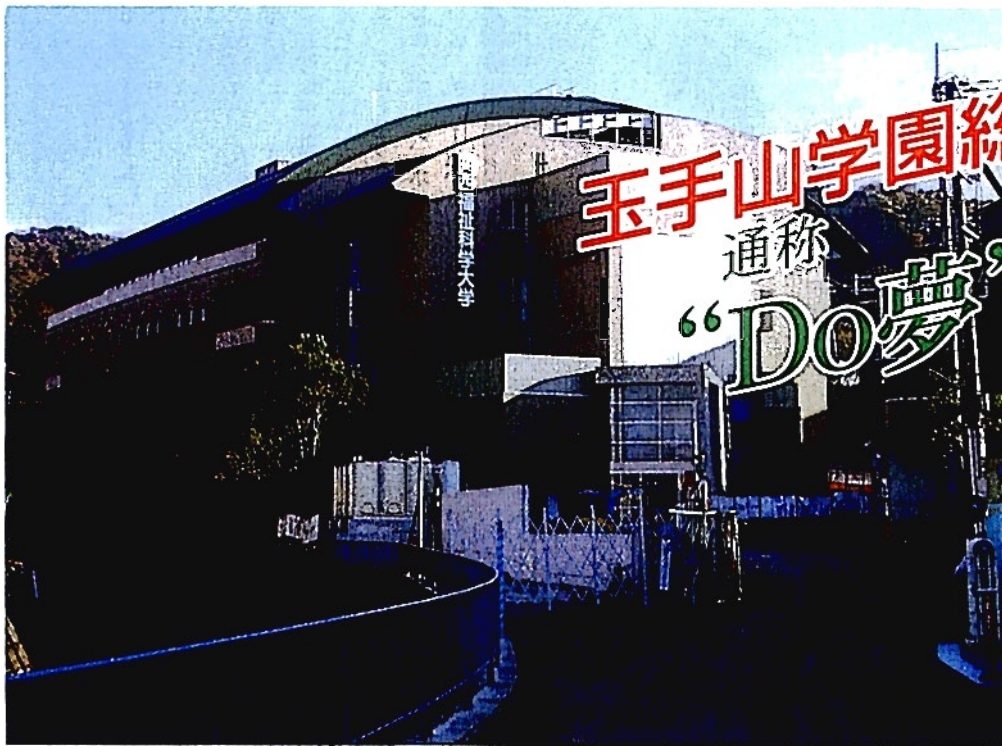
保健室を拠点に学生の健康管理にあたっている柳本静子さんは、次のように話しています。「教育後援会の助成のおかげで保健室の活動が充実しつつあり、とて



大本館2階保健室の体組成計



リーダーズキャンプ参加者集合



# 玉手山学園総合体育館 通称 “Do夢”が完成

玉手山学園総合体育館「Do夢」

関西福祉科学大学の開学十周年にあたり、学園総合体育館（通称、Do夢）が、平成一九年四月二五日に竣工式を迎えました。体育館は、学園正門（勾玉門）を出て、徒歩五分ほどの場所にあります。

体育館は三階建てで、完全二足制を採用しています。ご利用には体育館シューズが必要です。

一階部分には、トレーニング室、リ

ズム室、更衣室（シャワー完備）、休息のためのオープンスペース、会議室などがあり、二階部分には、武道場（柔道や剣道）、卓球・バスケットボールなどができるサブアリーナがあります。三階部分には、ハンドボールの試合ができる広さのメインアリーナ（四五×三三メートル）があり、アリーナ上部のギャラリーには観客席も備えています。

一階のトレーニング室には、ランニングマシンのほか、各種筋トレマシンが備えられています。トレーニング室の利用には、事前講習の受講が必要で、講習会の修了者は六月末までで合計七一五名です。トレーニング室の利用者は、講習会を集中的に行なっていた四月は一七九名と少なかったものの、一般開放日の増えた五月には三三二名、六月には四五三名と、順調に増えています（大学生・短大生・高校生のほか、教職員も含まれます）。

体育館利用者は、四月二八〇五名、



①1階トレーニング室での講習会風景



②1階リズム室でのピリーズブートキャンプ風景



③2階サブアリーナでのゼミ生による卓球大会風景

五月一九六九名、六月二三二六名で、クラブ活動やサークル活動での利用のほか、昼休みや授業の空き時間

オープンスペースで過ごしたり、ゼミのイベントで使用したり、と大いに活用されています。



教育後援会岡山会場（ホテルグランヴィア岡山）

## 大学開学10周年記念事業

関西福祉科学大学は、本年開学10周年を迎えました。教育後援会の助成も得て次のような記念事業を実施します（①～⑤は実施済み）。

- ① 記念スポーツ大会（台風4号のため中止）
- ② 高校生論文コンクール（公募）
- ③ 10周年記念セミナー・教育懇談会
  - 9月15日 岡山会場
  - 9月23日 金沢会場
  - 10月20日 本学会場
- ④ 関西福祉科学大学学生歌制作
- ⑤ 開学10周年記念式典・記念講演
  - 10月20日 日本学記念講堂にて
  - 講演Ⅰ「幸福学の構想」
  - 講師 中西進（奈良県立万葉文化館長）
  - 講演Ⅱ「ホムカミングデー（母校訪問）」
  - 11月11日 大学祭開催中
- ⑦ 開学10周年記念論文集発行

# 有文館西側に 庭園「春の里」設置



庭園「春の里」完成予想図

平成十七年四月のJR福知山線脱線事故で亡くなりになられた井上美里さんと折尾春菜さんのご遺族から、学生に役立ててほしいとの趣旨で大学に寄付を頂きました。ご遺族のご意向に沿うよう、学友会の協力を得ながら学園内の企画チームで活用方法を検討した結果、学生が集い、憩い、語り合えるミニ庭園を有文館西側に造成いたしました。庭園の名称はお2人の名前から一文字ずつを取って「春の里」とし、苑内には故人を追悼した左記の碑文を設置しております。

## 美しき春 永久に

健康福祉学部一年  
井上美里さん  
折尾春菜さん

人を幸せにする学びを究め 社会に尽くすと誓った貴方たち

夢と希望はJR福知山線事故(平成十七年四月二十五日)に阻まれたけれど

その想いは 永久にたち帰る美しき春とともに

この苑に憩う私たちの中に生き続ける

平成十九年十月  
学校法人玉手山学園  
関西福祉科学大学

# 二学部四学科そろった初の卒業式 大学院修了生にも初の博士号二名に授与

本年三月二六日、初めて二学部四学科での卒業式が行われました。社会福祉学部社会福祉学科のみであった時期と比べると、卒業生の数が約二倍になり、学科が四つに増えましたから、なかなか盛大な卒業式になりました。

社会福祉学部社会福祉学科からは、

七期生三二七名、社会福祉学部臨床心理学科からは、一期生一三五名、健康福祉学部健康科学科からは、一期生一一二名、健康福祉学部福祉栄養学科からは、一期生八一名が元気に巣立っていきましました。本学卒業生として、それぞれの分野で、立派に活躍してください。

また今年初めて本学大学院から、博士の学位取得者が二名誕生しました。うち一名は本学一期生の九十九さんで、四月から社会福祉学科講師として活躍中です。また、安井さんは他大学にて教鞭をとりながら、論文をまとめられました。

大学では単位制がとられ、卒業や資格取得のためには決められた単位数を必ず修得しなければなりません。学生は履修登録を行った科目を受講し、試験等を経て合格すれば単位を修得することができます。

科目によって単位数は異なりますが、春学期、秋学期における科目の単位数は概ね2単位となっています。

学習効果を高める等の理由によって、履修登録単位数には制限が設けられています。

卒業までに修得しなければならぬ。卒業までに修得しなければならぬ。卒業までに修得しなければならぬ。

## 「単位」について

特別科目は前述の単位数には含まれません。教員免許取得や教養を深めるための単位となります。最後に、今年度入学された1年生の各学科における卒業必修科目の単位数を紹介いたします。

【社会福祉学科】  
一般：14単位 専門：28単位

【臨床心理学科】

一般：18単位 専門：36単位

【健康科学科】

一般：18単位 専門：18単位

【福祉栄養学科】

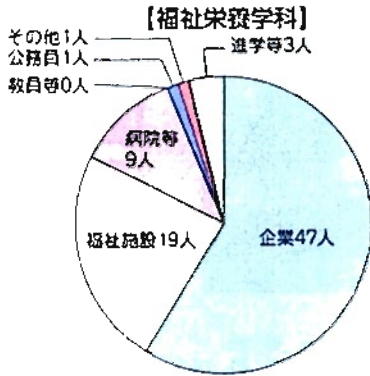
一般：19単位 専門：100単位

これを機に単位について関心をお寄せいただき、学期末(春学期：9月、秋学期：3月)には学生へ単位修得状況をご確認していただければ幸いです。なお、単位に関する詳細は入学時に学生へ配布している学生便覧に記載されていますのでご参照下さい。

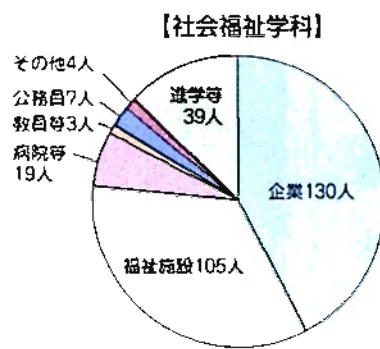


# 平成18年度 就職進学状況報告

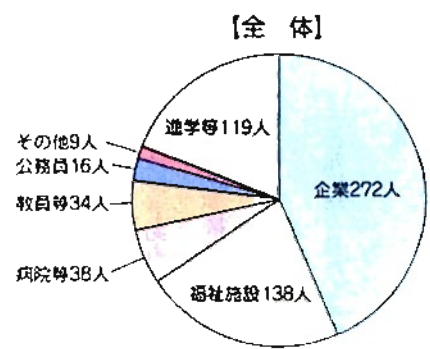
※就職決定率=就職者/就職希望者



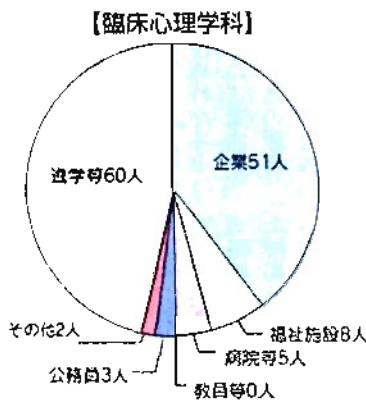
卒業者数 81人  
 就職希望者 78人  
 就職者 77人  
 就職決定率 98.7%  
 進学等 3人



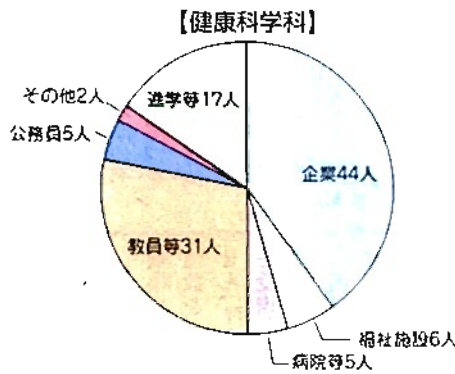
卒業者数 327人  
 就職希望者 288人  
 就職者 268人  
 就職決定率 93.1%  
 進学等 39人



卒業者数 655人  
 就職希望者 536人  
 就職者 507人  
 就職決定率 94.6%  
 進学等 119人



卒業者数 135人  
 就職希望者 75人  
 就職者 69人  
 就職決定率 92.0%  
 進学等 60人



卒業者数 112人  
 就職希望者 95人  
 就職者 93人  
 就職決定率 97.9%  
 進学等 17人

## 2007年度 出身都道府県別入学状況 (人)

都道府県名	入学者数	都道府県名	入学者数
山形県	1	和歌山県	32
茨城県	1	鳥取県	10
東京都	1	島根県	7
神奈川県	1	岡山県	8
富山県	2	広島県	9
石川県	3	山口県	3
福井県	2	徳島県	2
長野県	2	香川県	9
岐阜県	1	愛媛県	9
静岡県	5	高知県	2
愛知県	1	福岡県	7
三重県	19	佐賀県	1
滋賀県	5	長崎県	3
京都府	24	熊本県	2
大阪府	305	大分県	1
兵庫県	85	宮崎県	4
奈良県	70	沖縄県	1
合計	638		

## 編集後記

『感恩のこころ』第3号をお届けします。  
 6月の総会で承認された昨年度の事業報告と決算報告、本年度の役員名簿、事業計画と予算など、ご覧の通りです。教育後援会の事業が文字通り開学十周年を迎えて充実期に向かう本学の教学支援推進の力となりつつあることがうかがえます。不明の点や今後に向けたご提案があれば、事務局までお寄せ下さい。

以前から指摘されていた「大学全入時代」によいよ直而し、どの大学も教育の充実工夫を凝らしているところですが、先ごろ、中央教育審議会が「学力を維持するために、単位の認定」をきびしくするよう求める提言をしたとのこと。参考までに、本学の卒業に必要な単位数など、本誌7頁に簡単な紹介記事をのせました。担当は教務部です。

### 編集委員(五十音順)

- 伊藤なおみ(学生支援センター)
- 井上 義大(教務部)
- 浦野二味代(入試広報部)
- 竹下 典子(図書館)
- 多田菜香里(大学臨床心理学科)
- 中尾美千子(短大保育科)
- 花谷早希子(短大歯科衛生学科)
- 堀 初子(短大保健科/副委員長)
- 松宮 澗(大学社会福祉学科/委員長)
- 松村 歌子(大学健康科学科)
- 松本 明英(大学福祉栄養学科)
- 村川 建一(総務部)
- 山口 美和(大学社会福祉学科)

〔写真〕鍵岡 正俊・河野 清志

# 感恩のこころ

第3号 平成19年10月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会  
 編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1 TEL072(978)0088 FAX072(978)0377  
 E-mail: koho@fuksi-kagk-u.ac.jp